

何を使う

機器 iPhone と iPad あるいは MacBook など
 大型提示装置（プロジェクタなど）
ソフトウェア（アプリ）
 カメラと AirDrop



それをどう使う（それで何が出来る）

- 作業中のノートや課題プリントを iPhone で撮影し、AirDrop で大型提示装置に接続している iPad に転送 & 拡大提示する。
- 作業途中であっても提示できる。
- 机間巡視中に操作できる。
- 生徒の移動等を伴わずに作業できる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

【 Before 】

- 口頭での発表のみ

【 After 】 **メリット**

- 生徒
 - 短時間で発表内容を全員で共有できる。
 - 発表内容を全員で添削でき、共有できる。
 - 自身の内容と比較することができる。
 - 比較した内容を生徒自身のプリントに記入し、学習内容を深めることができる。
- 教員
 - iPhone の基本機能なので、アプリ等が不要である。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○		プロジェクタなど				
	教師用 1 台							
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	1 人 1 台 端末			
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	どのような科目でも		
		○	○	○	活用が想定される場面	作業・課題		